

児童発達支援及び放課後等デイサービスに係る
自己評価結果等の公表にかかる届出書

令和6年3月22日

八戸市長様

所在地 八戸市湊高台5丁目13-30サンヒルズA棟201

法人名 合同会社 ゆめぷらす

代表者 職 氏名 代表社員 岩藤 裕



1 事業所情報

事業所名	放課後等デイサービス		
事業所番号			
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス
所在地	八戸市湊高台5丁目 13-30		
連絡先	0178-46-4661	担当者名	新里 宜彦

2 取組時期

職員による評価	令和6年 3月 10日	令和6年 3月 20日
保護者による評価	令和6年 3月 10日	令和6年 3月 20日
事業所全体による評価	令和6年 3月 18日	令和6年 3月 21日

2 公表状況

公表日	令和6年 3月 25日		
公表方法	《児童発達支援》		
	<input type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL)	
	<input type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)	
	<input type="checkbox"/>	その他 (具体的な方法)	
	《放課後等デイサービス》		
	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL URL 794461.CO.JP)	
	<input checked="" type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布 (会報等の名称 文章にて集計結果を報告する。)	
<input type="checkbox"/>	その他 (具体的な方法)		
公表内容	各サービスの「事業所における自己評価結果(公表)」及び「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」を添付してください。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：6年 3月 25日

事業所名 放課後等デイサービス あるふあ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	3	曜日によっては、空きスペースなどを利用して活動をしている。	
	2	職員の配置数は適切である	2	3	多機能事業所であり状況によっては応援職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	事業所が2階建てであり注意を促して支援をしている。	介助をする、注意喚起を図りながら行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	4		ミーティングの徹底と業務確認を徹底をする。業務改善が必要
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2		保護者の意見等を職員間で共有して工夫したい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		定期的に発行をしているたよりで公表をする。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		第三者委員会は設置していない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	3		年間を通して研修を受けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	状況を共有し個々にあった支援をする。	定期的に資料を確認して個々の目標等を確認をする。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3		定期的なミーティングを行う改善が必要
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		活動が固定化しないように工夫が必要。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		一緒に取り組む時間も取り入れ、また、外部からの講師なども招きながら支援をかんがえている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	個々の状況を踏まえマンネリ化しないように計画を立案している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	4		個々の状況踏まえて支援をするよう再確認をして支援をする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4		全体でのミーティング毎日は不可能であるが、工夫をして情報の共有をしていく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		記録を共有して支援内容を検証して次の支援につなげていくようにする。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		サービス提供責任者が主に参加しているが、参加できる支援員を増やしていくよう検討をする。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1		保護者から同意を受け予定表などを確認をしている。また、学校とも連携を図るよう日々心がけている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5		現在、利用している利用者がいない

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		現在も行っているが、今以上に今後も情報を提供しながら実施をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	依頼があれば提供をします。	個人情報であり保護者から確認をして提供をします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		検討中
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4		検討中
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1	連絡帳や必要に応じては電話等で状況を伝えています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2	契約時に説明をしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	できる範囲で行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	特には設定等はしていない。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2		日々の活動状況を開放を通して提供をしている。
	35	個人情報に十分注意している	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5			現在は、交流は行っていないが検討はしている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		避難訓練は実施している。	地震、水害などの訓練等も検討をしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	研修は全職員実施している。	委員会を立ち上げて取り組んでいる。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		提供物の表示を毎回確認をして提供をしています。	保護者に検査資料等の提供も求めています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	4		